

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床実習Ⅲ		必修	5	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t-mishina	火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	学外実習協力病院において、臨床実習指導者のもとに理学療法評価を修得する。学内実習では、理学療法評価に必要な検査項目の選定と基本的な検査手技の復習を行う。学外実習では、主に典型的な症例について、学内で学習した評価技法などを、指導者が実施している場面を見学する。またその一部を実際に行い、実習施設内の記録や他の職種の人々から情報収集などを行い、収集した情報を統合・解釈する過程について経験する。				
学習上の助言	解剖学、運動生理はもちろんのこと理学療法評価などこれまで学んできた科目全般の知識、技術が必要となるのでしっかりと復習しておくこと。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	症例を理学療法評価するために必要な情報を収集できる。			PT(1)、(3)、(4)	
②	症例を理学療法評価する上で必要な各種心身機能検査測定項目を選定し、実施できる。			PT(1)～(3)、(5)、(6)	
③	検査結果のデータを統合・解釈し問題因子の分析と抽出及び障害構造を説明できる。			PT(1)～(3)、(5)、(6)	
④	担当症例の理学療法評価過程をレジュメにまとめ発表できる。			PT(1)～(3)、(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
<ul style="list-style-type: none"> 臨床実習Ⅲは学内実習と学外実習により構成される。 開講時期は冬期休業期間 2021 年 1 月～3 月中の 5 週間を予定している。 <p>[学内実習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 整形外科疾患 1 症例、中枢疾患 1 症例 計 2 症例について、ペーパー・ペイシェントの検査項目を挙げ、項目の妥当性と検査手技の実技練習を行う。 1 症例 2 週間をかけ、最終的に教員による客観的臨床技能試験 (OSCE) に 2 症例とも合格することを必須とする。 客観的臨床技能試験 (OSCE) の詳細は 11 月中に説明会を開催する。 <p>[学外実習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学外実習協力施設にて 1 週間の実習を行う。 1 週間内に対象患者の問題点を抽出するために必要な検査・測定を臨床実習指導者の管理下にて実施し情報を収集する。 学外実習の詳細は 12 月中に説明会を開催する。 					
事前事後学習内容・必要時間					
<p>学外実習終了後に症例レポートをまとめるので、しっかりと計画を立てて情報収集に努めてもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">必要時間 (単位: 時間): 75</p>					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	20	30	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	10	0	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	客観的臨床技能試験 (OSCE) では、患者の誘導、リスク管理、インフォームドコンセント、検査手技の正確性等を評価する。				試験終了後合否の判定を行い不足部分は担当教員がアドバイスを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①		実習終了後に学内にて学外実習にて収集した情報をもとに、障害構造、問題点の抽出を行う。				実習終了後の学内症例報告会にて講評する。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		レポートをもとに症例の理学療法評価過程をまとめて発表する。発表者だけでなく参加者全員の質疑応答の内容、態度、ディスカッションの充実度を評価する。				実習終了後の学内症例報告会にて講評する。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、3 年次終了までに履修することができる必修科目の単位を全て修得していなければ履修できない。</p> <p>担当教員：◎三科 貴博、高村 浩司、粕山 達也、関口 賢人、高木 大輔、玉木 徹、遠藤 悠介、駒形 純也、大塚 篤也、池上 諒 他</p> <p>教員の実務経験：医療機関及び介護保険関連施設にて 8 年間の実務経験</p> <p>実践的授業の内容：理学療法士を目指す上で必要と思われる知識・技術を、臨床実習指導者の臨床経験に基づく視点から指導を受け、理学療法評価を実施できるようになる。</p> <p>同時双方向型授業では Teams を使用します。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります</p>							